



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 宰 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫◇ 「シャイアンで会った人」
 もう四十年も昔の事だが、僕は東京聖書学院に入学する直前、北米大陸横断バス旅行をしたことがある。それは二回目の旅行の時であった。バンクーバーからトロントまで十日間かけて横断し、そこから南下し国境を越えてアメリカに入るというコースである。アメリカ側に入って数日後の話である。
 実はカナダからアメリカに入る時に両替をしないで、カナダ・ドルで入ってきた。換金するほどの額ではなかったからだ。一日一ドルの予算という超緊縮の旅だったから、当然、米ドルもほとんど持ち合わせが無い。ところが、国境を越え、ワイオミング州・シャイアンのバス・デポで時間調整のために、しばらくそこで待機していたところ、それまでお金をセーブするあまり、十分な食事を摂っていなかったため、ひどくお腹が空いてしまった。そこで隣接のレストランに入って食事をすることにし、幾つかの品目をピックアップしてキャッシュヤーに来た時、私はカナダ・ドルを出したのだった。その時、係りの女性が、「そのお金では受け取れませんから、バスの切符売場で米ドルに換金してきて下さい」と言われてしまった。もちろんそうしたのだが、できないと言われてしまい、僕はほとほと困ってしまった。やむなくその旨を先の係りの人に言った。そうしたところ、何と彼女は、「じゃあ、私が払ってあげましょう」と言って、その分を自分のポケットから支払ってくれたのである。僕は非常に恐縮してしまっただが、彼女の行為に甘えることにした。それは何と美味しいランチであったことか！ 食べ終わってそのまま帰るのは、日本人男性の名おれだと思ひ、カナダで買ってきたお土産を心から感謝して彼女に差し上げた。見ず知らずの外国人に、よくもまあそのような好意を示してくれたものである。忘れられない甘酸っぱい思い出の一コマである。
 その若い女性は憐れみ豊かであった。憐れみをかけるというのは、その人にとってには犠牲を払うことであり、空腹を切ることだが、空腹しきっているアジアからの旅人を見た時に、何とかしなければと思っただけであろう。山上の垂訓に、「あわれみ深い人たちは、さいわいである。彼らにはあわれみを受けるであろう」(マタイ五・7)とあるが、その女性は、きっと豊かな神の憐れみを受けているに違いない。天国で彼女に再会できたら、もう一度、有難うと言いたいものだ。見ず知らずの僕がシャイアンの町の一女性に親切にしていたように、旅人には極力、愛の手を差し伸べたいものである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

